

アステラス製薬株式会社
－記者懇談会－

2009年11月25日

代表取締役社長 野木森 雅郁



グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた この一年間の取り組み

1. 製品創出力の向上
2. 強固なビジネス基盤の確立
3. GCLを目指すための3つの仕組み

アステラスの長期戦略・・・VISION2015

Global Category Leader (GCL)

専門性の高い複数の「**カテゴリー（領域）**」で、「**グローバル**」に製品を提供し、「**リーダー**」としての競争優位を確立する

2つの戦略：

製品創出力の向上
強固なビジネス基盤の確立

3つの仕組み：

人的資源活用/マネジメントコントロール/CSR経営

VISION2015のロードマップ

2008

2009

GCL

2009年度の主なマイルストーン

- ★ Agensys買収
 - ★ つくば 新棟完成
 - ★ 創薬研究機能のつくば集約
 - ★ ビームライン稼動
 - ★ 富山 醗酵技術研究棟起工
 - ★ グローバル開発体制強化
 - ★ 醗酵研究機能再編
 - ★ バイオイメージング研究所設立
 - ★ 生物工学研究所 東光台移転
 - ★ MDV3100導入
 - ★ Maxygen社と合併設立
 - ★ Linaclootide導入
-
- ★ ホノテオ国内新発売
 - ★ ミコンビ国内新発売
 - ★ ブラジル販社設立
 - ★ フェブキソスタット提携(台湾)
 - ★ Qutenza提携(欧他)
 - ★ シムビコート国内コ・プロ提携
 - ★ カデュエット国内コ・プロ提携
 - ★ Sumavel DosePro提携(米)
 - ★ VIBATIV米国発売

製品創出力
向上

ビジネス基盤
強化

グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた この一年間の取り組み

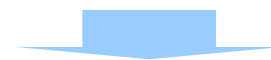
1. 製品創出力の向上
2. 強固なビジネス基盤の確立
3. GCLを目指すための3つの仕組み

研究機能の集約による研究の一層の 高質化とスピードアップ

開発研究機能の大阪・
加島事業場への集約
(2009年9月)



新研究棟完成(2008年9月)



探索・最適化研究のつくば
地区集約(2009年4月)



■ バイオイメージング研究所の新設(2009年10月)

バイオイメージング技術の活用による研究開発プロジェクトの効率的
推進、トランスレーショナルサイエンス研究との連携強化

✓ 開発薬理研究所から画像解析研究室を分離・独立し、新設



■ 醗酵研究機能の再編(2009年10月)

合成、醗酵、抗体技術を有機的に結びつけた多面的アプローチ
による対象疾患、対象標的に適した創薬研究の実現

✓ 醗酵研究所の創薬研究機能



薬理研究所と分子医学研究所へ移管

✓ 醗酵天然物創出に関わる基盤機能



アステラス リサーチ テクノロジーへ移管

✓ 醗酵研究機能をつくば「御幸が丘」に集約



醗酵研究棟を建設予定(2011年中)

■ 生物工学研究所のつくば東光台地区への移転

創薬研究機能と製造プロセス研究の連携強化による新薬創出力の一層の向上とスピードアップ

- ✓ 2010年度から2011年度にかけて段階的に移転
- ✓ 設備投資:約70億円(抗体医薬品開発用の原薬製造設備等)
- ✓ 清須事業場(愛知県)は2012年度中に閉鎖予定



つくば研究センター(東光台)

醗酵や抗体などバイオ医薬品に関する工業化研究の拠点

■ 醗酵技術研究棟の建設

醗酵天然物由来の開発化合物の開発用原薬について、将来にわたりグローバルに安定供給を実現

- ✓ アステラス富山 富山工場内に建設
- ✓ 2009年9月着工
2010年10月完成予定
- ✓ 総工費:約55億円



この1年間の開発プロジェクトの進展

	日本	米国	欧州
承認	<p>ミコンビ (09年4月) ミカルディス・利尿剤の配合剤</p> <p>セレコックス (09年6月) 腰痛症等</p> <p>プログラフ (09年7月) 潰瘍性大腸炎</p> <p>プログラフ (09年10月) (全ての)重症筋無力症</p>	<p>プログラフ (09年5月) MMFとの併用療法</p> <p>VIBATIV (09年9月) (テラバンシン) 複雑性皮膚・軟部組織感染症</p>	<p>モディグラフ(09年5月) タクロリムス顆粒剤</p>
申請	<p>ASP8825(09年11月) レストスレグス症候群</p>		<p>テラバンシン(09年10月) 複雑性皮膚・軟部組織感染症 院内肺炎</p>
その他		<p>FLOMAX(ハルナール) 小児データがFDAに受理 (09年9月)</p>	

製品ラインの拡充に向けた取り組み

開発パイプラインの強化

Maxygen社との合併会社

2009年9月

蛋白医薬品の研究開発

MDV3100 (09年10月)

前立腺がん

全世界での開発・商業化

Medivation社

Seattle Genetics社と Agensys社間の提携強化

2009年11月

ADC技術に関するライセンス

Linacotide (09年11月)

便秘型過敏性腸症候群

日本他での開発・販売

Ironwood社

製品ラインの拡充 (販売提携等)

フェブキソスタット(09年5月)

痛風・高尿酸血症

台湾での販売

帝人ファーマ社

シムビコート(09年8月)

気管支喘息

日本でのコ・プロモーション

アストラゼネカ社

カデュエット配合錠(09年8月)

高コレステロール血症/ 高血圧症

日本でのコ・プロモーション

ファイザー社

Qutenza(09年6月)

末梢神経因性疼痛

欧州等での商業化

NeurogesX社

Sumavel DosePro(09年8月)

偏頭痛・群発性頭痛

米国でのコ・プロモーション

Zogenix社

創薬研究におけるアステラスの強み









幅広い創薬技術

- 幅広い創薬テクノロジーを保有
 - 化学合成、醗酵創薬に加え、抗体医薬
- 独創的新薬の創製に必要な新規標的分子を同定・保有
 - Agensys社保有の標的分子+アステラスのゲノム技術（標的探索）

抗体医薬創製能力

- Agensys社の持つ強力な抗体医薬創出エンジン
- 複数癌種での新規標的に対する多くのファーストインクラスの抗体
- トップクラスのADC（Antibody-Drug Conjugate）技術
 - 米国Seattle Genetics社とADC技術に関する契約修正(09年11月)
➡ ADC技術に関するライセンス範囲を拡大

がんのパイプライン充実

	PJ名・製品名(地域)	がん種	P-1	P-2	P-3	発売
低分子	エリガード(欧)	前立腺がん				
	MDV3100(欧/米)	前立腺がん				
	ASP3550(日)	前立腺がん				
	YM155(欧/米/日)	乳がん、非ホジキンリンパ種、メラノーマ				
	ASP0265	前立腺がん				
抗体	AGS-1C4D4(欧/米)	膵臓がん				
	AGS-16M18					
	AGS-8M4					

グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた この一年間の取り組み

1. 製品創出力の向上
2. 強固なビジネス基盤の確立
3. GCLを目指すための3つの仕組み

強固なビジネス基盤の確立

日本

国内No.1

既存品維持・拡大
新製品の継続投入

売上予想:5,391億円
(前期比:+5.6%)
構成比: 55.2%

リピートル、ミカルデイス、
ガスター、ハルナール、
プログラフ、マイスリー、
ベシケア、セレコックス など

北米

Transforming

領域フランチャイズ
の拡大

売上予想:\$1,937MM
(前期比:+3.1%)
構成比: 18.4%

プログラフ、ベシケア、
レキスキャン、アデノスキャン
マイカミン、プロトピック など

欧州

継続成長

感染症ビジネス立上げ
販売地域の拡大

売上予想:€1,733MM
(前期比:+4.0%)
構成比: 23.4%

プログラフ、ベシケア、
ハルナール(Omnic/Ocas)
エリガード、マイカミン、
プロトピック など

アジア

自販体制の拡充

中国市場の拡大
移植・泌尿器の拡大

売上予想:293億円
(前期比:+7.6%)
構成比: 3.0%

プログラフ、ハルナール、
ベシケア、マイカミン、
プロトピック など

新製品の継続投入による製品ラインの拡充

日本

国内No.1

- ★イリホー発売(08/10)
- ★ボノテオ発売(09/4)
- ★ミコンビ発売(09/6)
- ★セレコックス追適(09/6)
- ★フログラフ追適(09/7,10)

★シムビコート
(アストラゼネカ社)

★カデュエット配合錠
(ファイザー社)

北米

Transforming

- ★レキスキャン発売(08/6)
- ★VIBATIV発売(09/11)

★Sumavel DosePro
(Zogenix社)

欧州

継続成長

- ★マイカミン発売(08/8)
- ★モディグラフ承認(09/5)

★Qutenza
(NeurogesX社)

アジア

自販体制の拡充

- ★アトバグラフ発売
香港(09/1)
台湾(09/9)
- ★マイカミン発売
フィリピン(09/3)
インドネシア(09/10)

★フェブキソスタット
(帝人ファーマ社)

世界40カ国以上で自社販売。BRICs等新興国へも拡大

欧州等

■ ロシア販売子会社

- 設立:1994年 所在地:モスクワ
- ロシア国内のほか、CISもカバー
- プログラフ、ベシケアなどを販売

■ トルコ販売子会社

- 所在地:イスタンブール
- 2008年6月より、営業活動スタート

米州

■ ブラジル販社設立

- 2009年7月設立 所在地:サンパウロ
- 今後、ハルナールなどの販売を計画

アジア

■ 中国子会社

- 1994年10月設立
- 所在地:北京(ほか4都市に販売拠点)
- プログラフなどを販売、ベシケア発売予定

■ インド販売子会社

- 2008年11月設立 所在地:ムンバイ
- 2009年度中にプログラフ販売開始予定

グローバルビジネスを支えるグローバルITインフラの構築

施策: グローバルに利用可能なIT環境標準化の実施

実施内容: ドメインのグローバル統一

PCのグローバル統一 (全世界2万台)

PC環境 (OS・アプリケーション等) のグローバル標準化

期待効果: 国内外の拠点を問わずシームレスに利用可能

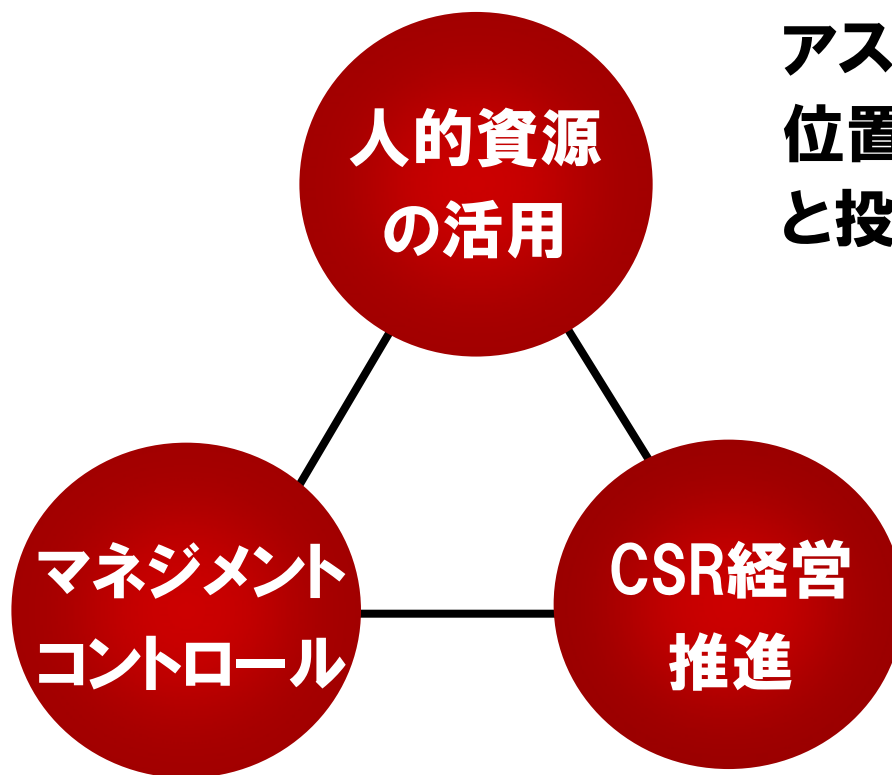
グローバルでのコミュニケーション活性化

グローバルでのITコストの最適化

グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた この一年間の取り組み

1. 製品創出力の向上
2. 強固なビジネス基盤の確立
3. **GCLを目指すための3つの仕組み**

GCLを目指すための3つの仕組み



人的資源の充実を
アステラスの最重要課題と
位置付け意欲的な取り組み
と投資を行なう

最適な権限バランスにより、
柔軟で機動性に富む組織
を作り上げる

アステラスの社会的責任を
明確にし、それを果たす
ための仕組みを構築する

ダイバーシティ（多様性）経営の視点から、多様な人材が仕事と生活の調和を図りながら活躍できる企業風土の醸成

■ ダイバーシティ推進室の設置（2008年7月）

- 5名の専任体制
- 特に、女性がもっと活躍できる環境、意識、風土を整えていくための具体的施策を検討・推進



- ✓ 「結婚時の同居支援制度」の新設(08/4月) *対象:営業職
- ✓ 「再雇用登録制度」の新設(08/4月)
- ✓ 「育児短時間勤務制度」の拡充(08/10月) *適用期間の拡大
- ✓ 「母性保護休暇制度」の新設(08/10月)

2009年度においても社員のワークライフバランスを支援する様々な取り組みを実施

【2009年4月】

- ✓ 所定労働時間の短縮 → Family Fridayの導入(09/4月):
 - 金曜日の終業時間を1時間45分繰り上げ
- ✓ 産休または育児休業から復職時の託児費用補助制度の新設(09/4月):
 - 1子あたり8万円/月を越える金額を会社が補助(上限16万円 最長6ヶ月)
- ✓ 介護支援制度の拡充(09/4月):
 - 介護者1人につき、通年で1年以内、複数回の取得が可能な介護休業制度及び申請事由が解消するまでの柔軟な勤務が可能な介護短時間勤務制度

【2009年10月】

- ✓ 在宅勤務制度の導入(09/10月) *対象:入社1年以上の国内グループ全従業員

取り組みに対する評価

■ 日本生産性本部による「ワークライフバランス大賞」受賞(09/11)

✓アステラス製薬における所定労働時間削減、勤務地配慮で女性MRの退職率改善への取り組みが評価

■ アステラス富山が、「女性が輝く元気企業とやま賞」(富山県知事表彰)受賞(09/6)

✓女性の登用のほか、能力開発や職域の拡大に取り組んでいることなどが評価

■ アステラスファーマUSが、「ワークフォース・シカゴ賞」受賞(09/8)

✓優れた教育訓練・人材育成プログラムを実施していることが評価

■ 韓国アステラスが、「働きたい会社」認証 受賞(09/7)

✓韓国労働省の外殻団体「労使発展財団」が主催する「2009年働きたい会社-中小企業編-」の認証受賞



ワークライフバランス大賞
授賞式



ワークフォース・シカゴ
表彰の受賞

グローバル競争力強化の一環として 「人のグローバル化」を推進

■ アンバサダープログラムの推進

- ✓ 海外グループ会社からのアステラス本社へ長期出張ベースでの派遣受け入れ
- ✓ 08/10～09/9の1年間に本社スタッフ部門に4名を受け入れ
- ✓ 09/10以降は、全社に対象を広げて実施へ。

■ アステラス本社への長期出向者受け入れ

- ✓ アステラス本社への長期出向者(2～3年の滞在期間)受け入れ
- ✓ 09/10月末現在：製品戦略部に2名の出向者受け入れ
- ✓ 今後も必要に応じ、継続して受け入れ実施

明日は変えられる。

